

ヒルズボロ オレゴン州2024

シリコンフォ レストの中心部

ヒルズボロはオレゴン州で5番目の規模を誇る都市で、ポートランドの中心部から西に約24 km（15マイル）の距離にあります。人口 **250万人** を擁するポートランド都市圏（全米で25番目の規模）において、ヒルズボロは重要な地区の一つです。1980年代後半までは、ヒルズボロは人口が4万人に満たない小さな町で、経済の主な支えは農業でした。現在、人口は **11万人** を超え、最も安定した経済力を持つ都市のひとつとなっています。

ポートランド大都市圏の輸出額は344億ドルで、2022年の米国都市圏輸出地域の中で13位でした。ポートランドは、全米**第4位**のコンピューターおよびエレクトロニクス製品の輸出地でもあります。ヒルズボロは、製造業と技術産業という強固な基盤により、ポートランド都市圏とオレゴン州の経済を牽引し続けていきます。私たちは、ヒルズボロがテクノロジーとイノベーションの世界的な拠点となることを目指しています。

ヒルズボロの急成長は、1980年代半ばに始まったハイテク、半導体産業での好景気によるものでした。当時のヒルズボロは、電力の安定性や豊富な水資源、利用可能な工業用地が揃った理想的な場所でした。

1980年代半ばから、ヒルズボロでは米国、欧州、日本の企業による投資が大きくなり、現在では世界有数のシリコン製造拠点となっています。

ヒルズボロには、**エプソンポートランド、東京エレクトロン、東京応化工業、旭硝子、東海カーボン、住友電気工業、ダイニックUSA**といった、20年以上の歴史を持つ企業が現在も活動を続けています。また、インテル、クオルボ、ジェネンテックなど、世界的なテクノロジー企業が多数進出しており、「シリコンフォレスト」としても知られています。ヒルズボロの半導体技術イノベーションクラスターは、世界で3つの地域にしかないうちのひとつであり、**アメリカ国内では唯一の存在です。**

ヒルズボロは、インテル、オレゴン州立大学、ラム・リサーチなどのパートナーとともに、オレゴン初の半導体イノベーション・センター・オブ・エクセレンス（OSCIE）の建設を計画しています。OSCIEは、産業界、高等教育機関、政府間でのパートナーシップを推進しています。ヒルズボロはすでにマイクロチップ製造業者やデータセンターが集まるオレゴン州のシリコンフォレストの中心部であるので、このようなイノベーションセンターがヒルズボロに建設されることは、非常に理にかなっています。

北ヒルズボロ工業地区には約2,000社が集まり、52,000人以上の従業員を雇用しています。従業員の平均年収はポートランド都市圏の中央値を上回り、109,000ドルを超えています。

ヒルズボロを選ぶ理由

ヒルズボロの経済成長は、計画的に進められてきました。ヒルズボロ工業地区（次ページ地図参照）は、**主要高速道路に近く、平坦な土地で、住宅街が限定されており、製造業の需要を満たす公共インフラ**が整っていることから、工業地区として白羽の矢が立ったのです。顧客サービスは市の優先事項であり、ビジネスも例外ではありません。ヒルズボロは、企業と協力して問題解決にあたり、双方が納得できる解決策を提供することで世界的に高い評価を受けています。さらに、ヒルズボロ市は、ビジネス・コミュニティやあらゆるレベルでの政府のリーダーと提携しています。私たちは企業の移転、進出、新規事業立ち上げの際には、協力し支援いたします。

ヒルズボロ市が提供するもの

- あらゆるサイズの販売用またはリース用の建物および土地
- 大規模、中規模、小規模の製造業務にあった公共インフラおよび50年にわたる十分な水の供給
- 地域の電力会社であるポートランドジェネラルエレクトリック（PGE）は、ヒルズボロのハイリライアビリティセンターに1億ドル以上を投資しています。
- 豊富な人材 – 技術および製造業分野に熟練した労働力
- ポートランド国際空港（PDX）への便利なアクセス – 国内線は、ニューヨーク、サンフランシスコ、サンノゼ、アトランタ、ボストンなどへの直行便が70便以上。国際線は、カナダ、ドイツ、イギリス、アイスランド、メキシコ、オランダなどへの直行便が就航。
- 毎日運行しているインテルのフライトや航空貨物サービス、ナイキの企業格納庫などのサービスも含めた民間およびチャーター便の運航を提供する地方空港があります。
- ポートランドおよび周辺のメトロエリアへのライトレール輸送は高速で、かつ手頃な価格で利用できます。
- 主要高速道路や州間高速道路へ即時アクセス
- 消費税なし
- 営業所得税なし
- 在庫税なし
- ヒルズボロエンタープライズゾーンプログラムとは、ヒルズボロの大部分の工業用地が対象で、適格と認められた企業向けに最大5年間にわたって新しい建物や機械および装置に対する100%の税制上の優遇措置が受けられるというものです。
- オレゴン州は、住宅および産業用建物のグリーンビルディングプロジェクトも推進しています。エネルギー効率と太陽光発電の効果が水準を超えるプロジェクトには、現金褒賞制度と税金控除が適用されます。
- 市のスタッフは、製造業務の立ち上げ、移転、拡大に関わるどのような問題においても、その支援のため力を尽くしています。





注目企業

intel インテルの米国内の従業員の約半数が、オレゴン州に集中しています。現在までに、インテルはオレゴン州の事業に590億ドルを投資しており、さらに360億ドルをヒルズボロに投資する計画を発表しています。この投資によって、同社は2025年以降も業界を牽引するプロセス技術を提供し続けることが可能となります。この投資は、インテルの技術開発施設を拡張・近代化し、将来の開発・プロセス技術をサポートし、世界初、最先端の高開口数極端紫外線 (High-NA EUV) リソグラフィ装置を活用することで、業界をリードしていくことを目的としています。インテルは、最先端のロジックチップを設計・製造する唯一のアメリカ企業です。ワシントン郡には22,300人以上の従業員がおり、従業員の大半はヒルズボロの3つの拠点に勤務しています。

HITACHI 2022年、日立ハイテクアメリカはヒルズボロテクノロジーパークにナノテクノロジーイノベーションセンターを開設しました。このセンターは200,000平方フィートを超える広さを誇り、日立ハイテクにとって日本国外における最大のグローバル投資のひとつです。ヒルズボロは、この投資をサポートするために必要なインフラを提供しました。

JSR チップ製造に使用される化学材料とフォトリソグレイスの大手メーカーであるJSRは、大手メーカーであるJSRは、機構 (JIC) に買収されました。買収は、日本の半導体産業を強化し、世界的な事業基盤を拡大するJICの戦略の一環でした。JSRの能力を高め、次世代半導体技術の開発を支援し、世界市場での競争力を確保することが期待されています。

ヒルズボロの海外直接投資企業

日本

- AGCエレクトロニクスアメリカ
- アプライドフィジックス
テクノロジーズ
- ダイフク
- ディスコハイテクアメリカ
- ダイニック
- エバラテクノロジーズ
- エプソンポートランド
- ファイバーセンス
- 日立ハイテクアメリカ
- JSRマイクロ
- 国際電気セミコンダクター
サービス
- レーザーテックUSA
- 明治安田生命保険相互会社
- 村田機械USA
- ニコンプレジジョン
- NTT
- ニューフレアテクノロジー
- スクリーンSPE USA
- シバテック
- 伸和コントロールズアメリカ
- 住友電工セミコンダクター
マテリアルズ
- 東京応化工業
- 東海カーボンUSA
- 東京エレクトロンアメリカ
- 東ソー・クォーツ
- トレテックアメリカ
- ヤマト運輸USA

ヨーロッパ

- ASM
- ASML US
- セントロサーム
- エドワーズ
- エバテック
- EV Group
- IMSナノ
ファブリケーション
- Jonas & Redmann
- KoCoS
- Linde
- オスラムオプト
セミコンダクターズ
- ロード・シュワルツ
- ジーメンス
- スカンスカUSA
- VWクレジット

中国

- レイヤード

韓国

- Besang, Inc.
- KoMiCo
- PSK Tech America

連絡先:

ジム・ライリー

経済開発マネージャー

James.Riley@Hillsboro-Oregon.gov

2024年9月